



体育施設用器具（3品目）のSG基準及び 検査マニュアルを改正します

2015年 9月18日

一般財団法人製品安全協会

このたび、下記内容により2015年9月19日付で下記の体育施設用器具（3品目）のSG基準及び検査マニュアルを改正し、事務受付を開始致します。なお、今後の型式確認試験につきましては2016年9月末日までを経過措置期間といたします。

記

（1）基準改正の経緯

下記に示す体育施設用器具3品目は、1990年に基準制定して以来、改正が行われていない。製品起因の事故への対応、用具の進歩、ルールの変更等への対応に加え、一部構造規制を撤廃することにより新規製品開発の支障にならないよう改めることとした。また、名称の変更を行った。

CPSA0082 移動式サッカーゴール	→ 新名称：サッカーゴール（移動式）
CPSA0083 屋外用ハンドボールゴール	→ 新名称：ハンドボールゴール（屋外用）
CPSA0087 バレーボール器具	→ 新名称：バレーボール支柱

（2）SG基準の主要改正内容

主な改正内容は、次のとおり。

イ. 基準の名称

SG基準の名称は、内容を端的に表すものとし、補足的な内容を基準名称の最後に（ ）をつけ表現した。上記（1）参照

ロ. 単位表示

単位表示は JIS Z 8203「国際単位系（SI）及びその使い方」に合わせた。

ハ. 外観及び構造

- ・ サッカーゴール：必須部材の明確化、打込みくいの形状・寸法等を参考扱いから正式に格上げ
- ・ ハンドボールゴール：サッカーゴールと同様
- ・ バレーボール支柱：床面からのネット巻き等までの標準高さは安全基準とは関係ないため削除

二. 強度

- ・サッカーゴール：ネット装着具に引っかかる事故抑制対応のため、強度を 710N→100N に変更（こわれやすくして、大きな事故にならないように）
- ・ハンドボールゴール：サッカーゴールと同様
- ・バレーボール支柱：支柱に加える力を 2450N→2700N に変更、繊維強化プラスチック製の基準値追加、ネットフック部の強度試験追加

ホ. 表示及び取扱説明書

- ・サッカーゴール：転倒防止につながる表示の基準化、管理者の明確化
- ・ハンドボールゴール：サッカーゴールと同様
- ・バレーボール支柱：ネットの張りすぎ注意等を表示に追加、管理者の明確化

※基準内容を補完する検査マニュアルも合わせて改正を行った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

一般財団法人製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪

電話：03-5808-3302 業務グループ 畠（はたけ）、菅

FAX：03-5808-3305 E-Mail m-hatake@sg-assn.org